

国際看護学

責任者・コーディネーター	成育看護学講座 高橋 亮 教授		
担当講座・学科(分野)	成育看護学講座、共通基盤看護学講座		
対象学年	2	区分・時間数	講義 12時間
期 間	前期		
単 位 数	1単位		

・学習方針（講義概要等）

諸外国の社会、経済、教育および文化的な相違の理解を基に、世界の健康問題と看護の現状・課題について学ぶ。また、途上国の人々の主な健康課題と貧困を基盤とする健康に影響を与える要因について学ぶ。併せて、先進国の医療・看護の現状と課題についても学び、看護の国際情勢についての理解を深める。

・教育成果（アウトカム）

世界の国・地域・民族の歴史、文化、政治、経済、社会システムなどの背景を基に、国内外の人々の健康と看護の質の向上を目指す意義とその必要性を認識できる。また、看護における国際協力および外国人に対する保健医療・看護活動を理解できる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1,2,4,9

・到達目標（SBO）

1. 国際看護の定義と意義を説明できる
2. 海外における看護職者に必要な視点を理解できる
3. グローバルな視点で開発途上国の健康問題とその背景を考えることができる
4. 異文化理解と看護の国際化について理解を深める

・授業日程

(矢) 東 2-B 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
4/27	金	2	成育看護学講座	高橋 亮 教授	<p>国際看護学の概念</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際看護の定義と意義を説明できる ・ 国家・地域間の健康格差の問題を理解することができる
5/9	水	3	成育看護学講座	高橋 亮 教授	<p>開発途上国における看護活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サハラ以南アフリカにおける5歳未満児死亡率と妊産婦死亡率が高率であることの背景を理解できる ・ マラリアの原因と症状、治療方法、予防方法について理解できる
5/11	金	2	成育看護学講座	高橋 亮 教授	<p>開発途上国における看護活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国連および国際機関について述べるができる ・ ミレニアム開発目標の評価と持続可能な開発目標について述べるができる
5/16	水	3	成育看護学講座	高橋 亮 教授	<p>わが国の国際看護に関する動向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 政府開発援助（ODA）について述べるができる ・ 経済連携協定（EPA）における外国人看護師との協働について現状と今後の課題を理解できる ・ 国内における外国人患者への看護の基本姿勢とケアについて述べるができる
5/18	金	2	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任講師	<p>異文化理解と看護の国際化①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本という国を説明できる ・ 第二次世界大戦後の復興がもたらした恩恵と課題がわかる ・ ICN等の職能団体の活動目標と内容を理解できる

5/22	火	2	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任講師	異文化理解と看護の国際化② <ul style="list-style-type: none"> ・日本人であることが言える ・文化とは何かがわかる ・国際協力・緊急人道援助に求められる人材について説明できる
5/23	水	3	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任講師	海外の医療機関における看護活動の実践① <ul style="list-style-type: none"> ・人権侵害の現状を知り、それがもたらす健康への影響を考えられる ・異文化への実践的な保健指導の方法を理解できる
5/30	水	4	共通基盤看護学講座	小松 恵 特任講師	海外の医療機関における看護活動の実践② <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカの看護制度を理解できる ・NCLEX-RN 申請方法や移民看護師の状況を理解できる ・日米の医療保険制度の違いについて理解できる

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ナーシング・グラフィカ 災害看護 第4版	酒井明子他	メディカ出版	2017

・成績評価方法

定期試験 50%、レポート 50%の合計 100%にて評価する。

・特記事項・その他

【事前学修内容及び事前学修時間】

- ・シラバスに記載されている次回の授業内容及び到達目標を確認し、教科書・レジメ等を用いて事前学修（予習または復習）を行うこと
- ・上記の事前学修は全ての授業に該当するものであり、各授業に対する事前学修時間は最低 30 分を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

- ・提出されたレポートは採点后、コメントを付して返却する

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】
看護師（別表3）：統合分野 看護の統合と実践

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（VPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ（P-100）	1	講義用資料投影